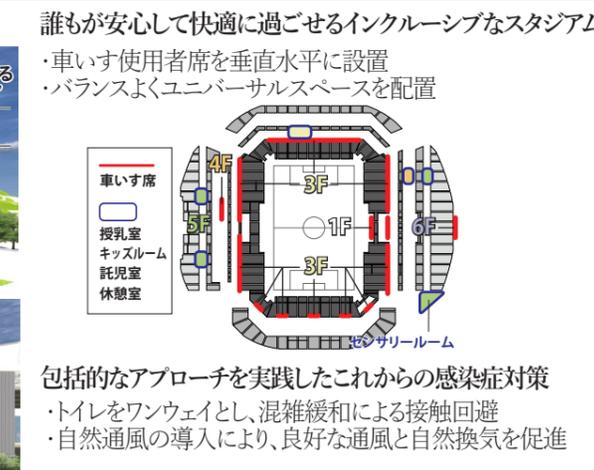


## 提案概略説明図\_01



### 事業実施体制

各専門分野の第一人者の英知を結集して世界に誇れるスタジアムを実現

### 取組方針

利用者の意見をくみ上げながらつくる協働の場「寄合の丘」を立ち上げ、プレイスメイキング型の活動の推進によりPark-PFI事業者を先導

スタジアムと広場が一体的なにぎわいを生む、長期的視野に立つ公園全体コンセプト



【丘の配置】  
新しい**軸**を作る  
LANDMARK  
広島の“都市スケールのシンボル”となるランドマークの創出  
・環境を最適化する南北軸合わせの配置  
・原爆ドームを起点にした新しい軸  
・平和軸上の『原っぱ広場』芝生広場

【丘の形】  
外に**開く**  
OUTDOOR  
見たこともない世界初の“街なかスタジアム”の提案  
・軽やかな屋根と開かれたコンコース  
・バックスタンドの大開口『わくわく広場』  
・園路とまちにぎわいを開く広場

【丘の仕上】  
**緑**でつなぐ  
SUSTAINABILITY  
“丘のデザイン”による環境創造を次世代に  
・ゼロタッチに近いスタンドによる一体感  
・ひとつつき芝面をつながるピッチと広場  
・緑の丘の楽しい大階段『雁木テラス』

【丘での活動】  
**活**きいきとする  
WELLNESS  
回遊動線“ウォーカブルなリボン”が産み出す新たな活性化  
・ウォーカブルな『リボン』のコンコースと園路  
・アプローチを演出する『リボン』  
・生活環境をささえる『リボン』

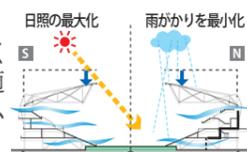
### 最高の試合環境、観戦環境を実現するスタジアムの計画

#### 日本一開放的で、臨場感と一体感にあふれ、ここでしかできない観戦をたのしめるスタジアムを実現

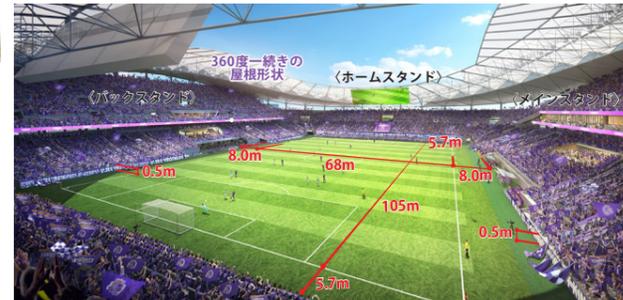
『サッカースタジアムの配置は南北軸がベスト』  
南北軸合わせの配置により最適化した日照・通風環境と、膜屋根によりもたらされる自然光により、日本一明るく快適なスタジアム環境を実現します。



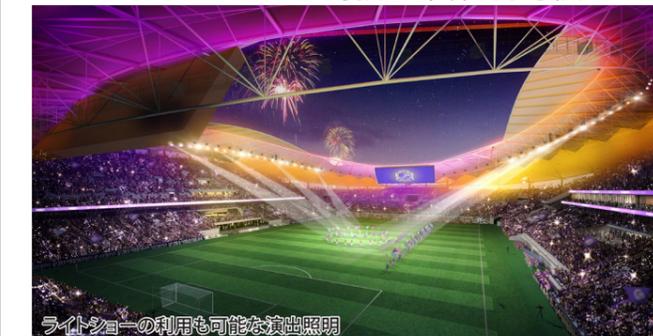
『サッカースタジアムの屋根は水平がベスト』  
日本初となる軽量構造システムによる低く水平で軽やかな屋根により、どこよりも快適で一体感と開放性にあふれるスタジアム環境を創出します。



#### 日本最小クラスのピッチとの距離・ゼロタッチに近いスタンド



#### スポーツとエンターテインメントを統合した世界に誇る演出



#### 選手との交流体験を提供可能な世界潮流のホスピタリティフロア



#### サッカーファンでなくても好きな場所で好きなように観ることができるスタジアム

#### 大階段と『リボン』のスロープにより、異なる表情を持つアプローチを演出



#### ゲームデーに限らずノンゲームデーを含むにぎわい創出に寄与するスタジアムの計画

#### まちに開かれたコンコースにより365日の多彩なにぎわいを創出し、まちとつながるスタジアムを実現

ゆとりある幅員と、外とつながる開口、間口が広く場所ごとに特徴づけた店舗により、明るく開放的でウォーカブルな場とする計画です。

360度にぎわいが連続するウォーカブルな『リボン』のメインコンコース  
使い方に応じて柔軟に選択が可能な充実したホスピタリティ機能  
公園や広場とつながる開かれたスタジアムならではの多機能化施設



#### スタジアムと広場をつなぐ核となる二面利用の飲食店舗



#### 試合と眺望の両方を楽しめるアッパーコンコースの上空テラス



スタジアム内の熱気や興奮を外からも感じられ、『人が人を呼ぶ』ように、広場全体からの集客とを生む中心地とする計画です。  
特色ある眺望を楽しみながらモニターで観戦を行うなど、初心者でも気軽にサッカーに触れることができ、ファン層の拡大につながります。

#### まち、公園、ピッチとのつながりを感じられる豊富なシートバリエーション例



## 提案概略説明図\_02

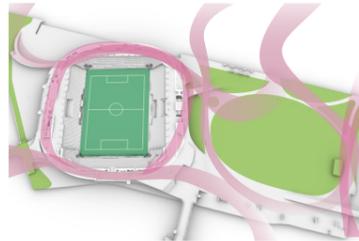
「街なかスタジアム」として365日の県民・市民の愛着を生み出す広場の計画

にぎわいと活動をつなぎ、まちを開くことで、県民・市民の居場所となる「リボン」の丘を実現

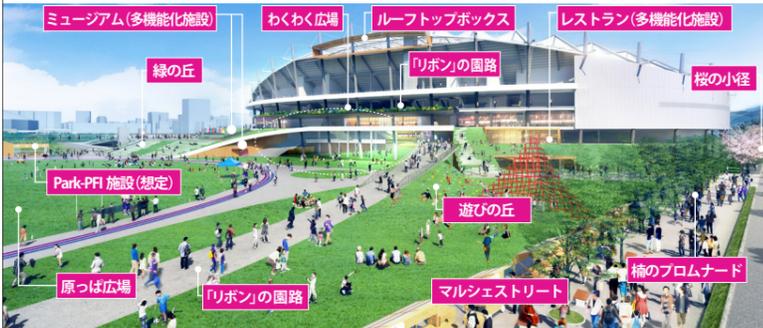


にぎわいをつなぐ「リボン」の園路

スロープ状のリボンが、スタジアムの周囲を巡り、にぎわいをつなぎます。園路にビュースポットを設け、公園とスタジアムの境界をなくすことで歩いて楽しい丘を創出します。



近隣の方も訪れたいくなる広場の風景



多機能化施設の配置により、東側広場に向けてにぎわいと緑を連続



InfinityGrassによって連続するスタジアムと広場

日常の憩いの場である広場と、スタジアムのフィールドを、地続きの芝生でつなぎ、広場からフィールドまでをひとつのまちのオアシスとして一体感を創出します。スタジアム解放時には互いを自由に行き来できる開かれたスタジアムパークを実現します。



多様な使い方が可能な平和軸上の原っぱ広場

原爆ドームを起点とする平和軸上に、大きな木々に囲まれたオープンスペースを配置することで、平和軸上の眺望・景観をつくります。B・C・Dの3つのゾーンと連携して様々な規模のイベント開催が可能です。

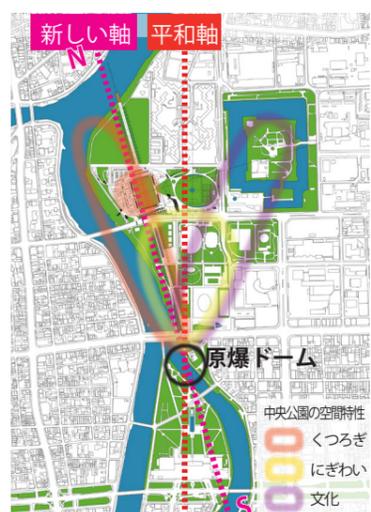


近隣住宅地の生活環境を守り、街中の「緑の拠点」を育む植栽計画  
既存樹を活かし、平和記念公園まで連続する緑の拠点を作ります。ゾーニングに応じて四季を感じる植栽計画とします。

良好な川畔の環境や周辺の歴史的環境と調和し、地域のランドマークとなるスタジアム・広場の計画

歴史をつなぎ、「見る見られる」の関係を生む活気に満ちた平和を眺める丘を創出

広島市の平和軸の考えを踏襲した、新しい南北軸



本川から広島城までひとつの丘でつなぐ、周辺と調和する景観



広島市の夜を彩る、やさしく象徴的な平和の光

平和軸上の原っぱ広場に埋め込んだソーラー照明とスタジアムの膜屋根から漏れるやさしい光が、広島市の夜を優しく象徴的に照らします。

スタジアムの雰囲気や、純白の膜を通した優しい光  
平和軸を照らす象徴的な広場の光



原爆ドームと向かい合うスタジアムと周辺の将来構想案

平和都市・広島市の2つの都市軸

地域住民の生活環境や将来の住環境整備に配慮したスタジアム・広場の計画

地域と共生する街なかスタジアムを実現

適切な建物配置と防音壁により、試合時の騒音を北側住宅地で約30dB低減

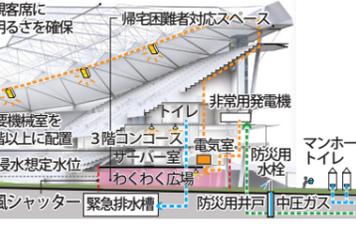
北側に重点的な騒音軽減対策を施し、将来の住環境整備に配慮します。



安心・安全なまちづくりに寄与する、災害に強いスタジアム・広場の計画

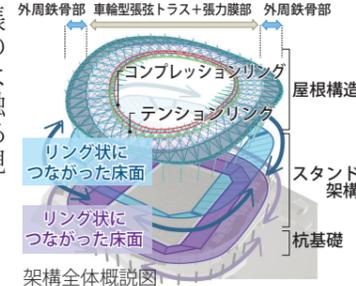
災害に備えた複合的な検討により地域の防災拠点を實現  
建築、構造、設備などの複合的な防災対策

わくわく広場を災害対応スペースと利用する等、災害時も市民を受け入れ、安心・安全を提供する防災計画とします。



今までにない軽量構造により、自然災害にも強い、明るく美しいスタジアムを実現

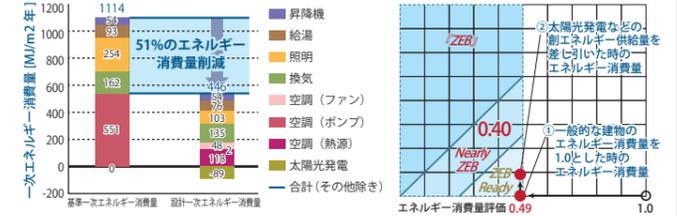
合理的な形態抵抗と張力膜を利用した独自の屋根構造システムにより、デザインと構造が融合した、軽快で自然光あふれるスタジアムを実現します。



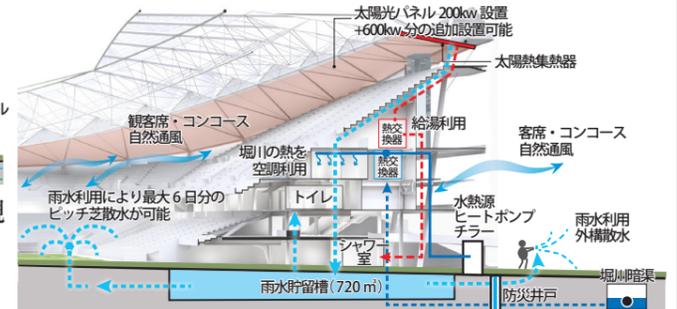
持続可能なエコスタジアムを実現するための環境性能を向上させる取り組み

再生可能エネルギー利用をベースとした様々な利用形態に対応可能な環境配慮型スタジアムを実現

ZEB Ready実現のための設備技術の計画



大屋根を活かした太陽光・太陽熱エネルギーの活用



サステナブルなスタジアムを実現する積極的・効率的な自然エネルギー利用

長期にわたる維持管理費の削減に関する提案

施設運用段階まで継続する包括的で一貫性を持った取組みにより維持管理費を削減

設計から引き渡し後まで一貫したコミッションングによる効果的な維持管理費削減

設計施工計画

令和6年2月リーグ開幕戦を実現するため工期を2か月短縮する実施工程

代表A社の実績ある施工法の組み合わせによる屋根施工の工期短縮(車輪型張弦トラス+張力膜構造)

年度	2020年度(令和2年度)	2021年度(令和3年度)	2022年度(令和4年度)	2023年度(令和5年度)	2024年度(令和6年度)
事業スケジュール	仮契約締結 見積合わせ 優先交渉権者選定の通知	本契約締結	スタジアムペDESTリアンデッキ工事着手	スタジアムペDESTリアンデッキ完成引渡し	本体工事の完成 本体事業の完了
設計業務	基本設計	実施設計	各種事前協議・検討	各種事前協議・検討	各種事前協議・検討
工事監理業務				工事監理	
施工業務(土木)		準備工事	準備工事	施工期間	
施工業務(建築)			準備工事	施工期間	
芝施工・園場(園場)	芝部会発足 (実証実験)	芝部会発足 (実証実験)	芝部会発足 (実証実験)	芝部会発足 (実証実験)	芝部会発足 (実証実験)

建物外観

本川に向けた開放的でシンボリックな外観



スタジアムと広場の両側から使えるわくわく広場



わくわくを演出する南ペDESTリアンデッキ



建物概要

用途: 観覧場、店舗  
構造: 鉄骨造  
階数: 地上6階、地下なし  
建築面積: 24,265㎡  
延べ面積: 60,485㎡  
建築物の高さ: 約39m  
耐火種別: 耐火建築物

断面構成

